

糖尿病療養指導に関わる全ての方のための

糖尿病コーチング

糖尿病と共に闘うパートナーシップを築く



糖尿病には糖尿病のやり方がある！

糖尿病に特化した、糖尿病療養指導のためのコーチングプログラム

相手のやる気と行動を引き出す対人支援スキルである「コーチング」は、糖尿病療養支援力を高める効果がありますが、通常行われている「コーチング研修」は、上司のマネジメントスキルの一環としてのトレーニングであり、糖尿病療養支援の現場で使うためには、カスタマイズが必要です。

そこで、NPO 法人ヘルスコーチ・ジャパンは、糖尿病のことを知り尽くしている糖尿病専門医の先生がたと共に、糖尿病療養指導に特化したコーチングトレーニングプログラムを開発しました。このプログラムを是非、あなたの療養指導力向上にお役立て下さい。

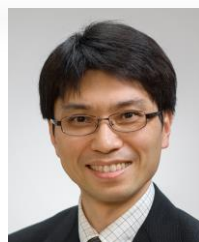
プログラムアドバイザー



大石内科クリニック
大石まり子先生

京都大学医学部卒。天理よろづ病院、国立京都病院糖尿病センター医長などを経て、平成 11 年大石内科クリニック開業。京都医療センター・WHO 糖尿病協力センター顧問、糖尿病データマネジメント研究会理事

医学博士・総合内科専門医・糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医・TOC-ICO 認定ジョナ



森岡内科
森岡浩平先生

近畿大学医学部卒。国立三重中央病院、三重大学医学部附属病院、山田赤十字病院(現:伊勢赤十字病院)、四日市社会保険病院 糖尿病代謝内科 内科医長を経て、平成 26 年より森岡内科クリニック院長。

医学博士・糖尿病専門医・認定内科医

2016/7/17(日)18(月祝)

糖尿病コーチング関係性編～患者との関係を再構築する

1日目:10:00~17:00 2日目:9:30~16:30 2日間で38,000円

患者との関係を再構築する-1日目

- 1, 糖尿病コーチングの概要
コーチングとは
糖尿病コーチングとは
- 2, 「枠組み」を知ってこれまでの関係を見直す
療養指導者が持つ「外の顔」と「枠組み」
- 3, 新しい関係を築く
気分とやる気のマトリクス
「患者の背景」を聞くために

患者との関係を再構築する-2日目

- 1, 信頼関係を作る技術1
言葉以外から伝わるものを意識する
- 2, 信頼関係を作る技術2
ペーシング・リフレイン・承認
- 3, 信頼関係を作る技術3
患者に対する視点を増やす
- 4, 信頼関係を作る技術4
患者のコミュニケーションスタイルを意識する

会場: アークレイ京都研究所 京都市上京区岩栖院町 59 番地 擁翠園 (ようすいえん) 内
講師: NPO 法人ヘルスコーチ・ジャパン 伊藤三恵・高橋美佐

*ヘルスコーチ・ジャパンの本講座(糖尿病コーチング講座は対象外です)を受講された方は、割引制度があります。詳細は事務局までお尋ね下さい。

●受講者情報 記入された個人情報、事務連絡、講座に関する情報提供にのみ使用します。

| | | | | | |
|-------------|---|--|-----|----|-----|
| フリガナ お名前 | 生年 月 日 | | | 性別 | 男・女 |
| 自宅 住所 | 〒 | | | | |
| TEL | 自宅・勤務先・携帯 | | FAX | | |
| Mail | 事務省力化のため、メール連絡が多くなりますので、必ずお書きください。携帯メールも可。パソコンメールを受けられる設定にしてください。 | | | | |
| 勤務先 | | | 役職 | | |

受講料振込人名義(振込人名義が参加されるご本人と異なる場合にご記入ください)

受講の目的

受講のきっかけ(紹介者名、もしくは、受講のきっかけとなった媒体(HP・広告・チラシ)などをお書きください)